

第19回淡路市環境審議会 会議録

■日 時：令和7年10月31日（金） 14：00～15：40

■場 所：本庁1号館2階 大会議室1・2・3

■議 題 （1）重点プロジェクト（各課取組み）について
（2）その他

■出席者：藤原道郎会長、武田委員、山本委員、魚住委員、米山委員、保田委員、
山田委員、鳥田委員

■事務局：木村市民生活部付部長、中舎生活環境課長、日高主幹、凧主事

1. 開会

【事務局】

生活環境課長の中舎です。

定刻となりましたので、第19回淡路市環境審議会を開催させていただきます。

開会にあたりまして、市民生活部生活環境担当部長木村より、ご挨拶申し上げます。

【事務局】

市民生活部 生活環境担当部長の木村です。

本日は、何かとお忙しいところ、第19回淡路市環境審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

淡路市におきましては、昨年度、委員の皆様のご審議により、第2次淡路市環境基本計画が改訂されました。本当にありがとうございました。

今年度は、基本計画が改訂されて、第1回目の環境審議会となります。

本日は、計画の進捗状況についてのご審議が中心になるかと思えます。

委員の皆様には、慎重なるご審議をお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

【事務局】

それでは、早速ではございますが、会議開催にあたり、本審議会会長であります藤原様にあいさつを頂戴したいと思います。

2. あいさつ

藤原です。よろしくお願い致します。

昨年は、淡路市環境基本計画を改訂しました。計画の表紙ですが、第1次よりも今回の方がカラフルになって良いと思います。表紙の写真にソーラーパネルがありますが、こちらはお金が付いて進んでいます、淡路市においてはバランスが大切です。

環境問題は、地球温暖化対策と生物多様性が両輪として必要です。生物多様性については、環境省の取組みで自然共生サイトが世界中で動いています。淡路市では岩屋の石の寝屋緑地が令和6年度に登録されています。日本でも「30バイ30」陸域で30%、海域で30%の生態系保全を目標に掲げています。これまでは、地域を指定することに重点を置いていましたが、令和7年度からは保全する活動が重要なポイントとなります。表紙の写真にある「かいぼり」の活動とか、環境学習等の子供たちの活動も重要で、保全の対象になります。また右下に花の写真があるように、淡路市には多くの観光客が訪れます。その方々に淡路市のファンになってもらい、環境を生かした地域作りに参加してもらう手法の検討も必要かと思っています。

本日は、環境基本計画に掲載している「重点プロジェクト」を中心にご審議いただき、それ以外でも活発なご意見をいただきたいと思います。市役所の担当の方々にも、ご出席いただいておりますので、皆様よろしくお願い致します。

3. 協議事項

【事務局】

それでは、本日の会議ですが、淡路市環境審議会規則第2条で、審議会の会議は過半数の委員の出席がなければ、開くことが出来ないと定められております。

本日は、13名の委員の内、5名の欠席でございますので、出席者過半数という事で、本会議は成立しております事を、ご報告申し上げます。

淡路市環境基本条例第23条第2項で、会長は会務を総理すると定められておりますので、藤原会長、議事の進行をよろしくお願い致します。

【会長】

それでは、3の協議事項に入りたいと思います。

協議事項(1)重点プロジェクトについて、事務局より説明願います。

【事務局】

生活環境課の日高です。よろしくお願い致します。

本日配付の資料の確認をさせていただきます。まず、本日の会議次第、審議会委員名簿、座席表でございます。次に、「第19回淡路市環境審議会報告資料」につきましては、事前に郵送にて送付させていただきました。次に、第2次淡路市環境基本計画の冊子。以上の資料となっております。それでは、報告資料の説明に入らせていただきます。

報告資料の2枚目をご覧ください。目次となります。一番左側、環境基本計画は6つの基本目標から構成されています。重点プロジェクトがどの目標とリンクしているのかを示す表で、右側には、基本計画に掲載されているページ番号となります。

次に1ページ報告資料1「令和7年度施策評価票」は1番に基本情報、重点プロジェクトの事業概要と担当部署を記載、2番に目標指標の項目、3番に担当部署評価で、これまでの取組みと課題について記入する欄を設けた調書となっています。令和6年度実績及び変更部分について、朱書きで掲載しています。

1ページ「地球温暖化対策実行計画の推進」について、計画書では87ページに掲載し、目標指標は、計画書100ページに掲載しています。第2次基本計画から、市全体のCO₂排出量を示す区域施策編、市役所所管施設のCO₂排出量を示す事務事業編を内包しています。

3ページ「脱炭素先行地域づくり事業計画の推進」は、夢舞台近辺のエリアを指定し、太陽光発電の整備を中心とした、脱炭素の取組みとなります。

4ページも脱炭素の取組みの一環として、バイオマスボイラー導入を検討しています。

5ページ「地産地消の推進」は、水産まつりの実績を掲載しています。

6ページは、加工品・特産品ブランド化の実績を掲載しています。

7ページは、学校給食についての、市産品の使用率を掲載しています。目標は25%で、金額ベースの記載です。

8ページは、市役所山側に設置していますメガソーラーについて、市役所庁舎等で自家消費し、余剰電力は、(株)ほくだんに売電し、エネルギーの地産地消を図っています。

9ページは、そのメガソーラーの電力利用について掲載しています。

10ページは、市民アンケートで多かった公共交通機関の充実について、あわ神・あわ姫バスを掲載しています。令和6年度で新路線の岩屋洲本線を10月1日から運行しています。

11ページは、耕作放棄地対策で、北淡路地区の国営パイロット事業の活用内容を記載しています。

12ページは、里山里海保全活動として、かいぼり活動について掲載しています。

13ページは、効率的なごみ収集として、4R(リフューズ)マイバック、マイボトル、(リデュース)ごみ減量化の啓発、(リユース)ベビー用品のリユース、(リサイクル)エコプラザでの資源ごみの受入れ、家庭系ごみの1日当たりの排出量、リサイクル率を掲載しています。

15ページは、ごみ持ち帰り啓発看板と、ボランティア清掃活動の支援について掲載しています。(島内3市の回収方法説明)

17ページは、下水道の接続率について掲載しています。

18ページは、歴史・文化遺産の活用で、五斗長垣内遺跡の来場者数を記載しています。

20ページは、里山景観の維持で、中山間地域等直接支払交付金事業、多面的機能支払

交付金事業について、掲載しています。

21ページは、棚田地域振興計画について掲載しています。棚田の保全計画ですが、淡路市は農地保全という観点で、多くの集落が先程の中山間地域等直接支払事業を活用し、棚田の保全に努めています。今後は、中山間事業を活用していない地域で、この計画を活用する所があるか、調査及び啓発を進めていきたいと考えております。

22ページは、情報提供による市民参画で、全島一斉清掃の取組みを掲載しています。近年の猛暑に対応し、令和7年度からは6月の第1日曜日に1か月早めて開催しています。

以上、「報告資料1」の説明です。

続きまして、A3の23～26ページの「報告資料2-1」、「報告資料2-2」について説明させていただきます。23ページの一番左側が、環境基本計画の6つの基本目標となります。その次の列が、その基本目標に対する基本施策となっています。その基本施策の市の取組みを各1事業掲載しています。この事業に取り組んでいく事で、基本目標を達成していきたいと考えております。

23ページ上から、温室効果ガスの取組みは、先程の重点プロジェクトに掲載しています。(民生部門)も、低公害車は、ここだけの記載です。(家庭系ごみ)も重点P、緑条例はここだけ、生物多様性もここだけ、鳥獣被害もここだけ、かいぼりは重点P、環境学習はここだけ、(全体)1日ごみ排出量はここだけ、リサイクル率はここだけ、バイオマスボイラーは重点P、環境基準はここだけ、志筑川もここだけ、下水道は重点P、公害苦情はここだけ、五斗長垣内遺跡は重点P、遺跡イベントはここだけ、景観条例はここだけ、緑肥取組みはここだけ、全島一斉は重点P、河川・道路愛護はここだけ、ボランティア清掃参加者数はここだけ、情報提供回数はここだけに掲載しております。

25ページ・26ページは、令和6年度実績の詳しい内容と事業説明を記載しています。資料の説明は以上となります。

【委員】

施策名：「再生可能エネルギー導入拡大の促進」で市役所に設置しているメガソーラーについて、設置するに当たり、耐用年数が大体20年と言われていたのですが、どう処理するかという所まで含めて検討されているのでしょうか。

【管財課】

メガソーラーにつきましては、耐用年数17年とか20年と言われていたのですが、定期的な点検や清掃、適正なメンテナンスを行う事で、事業として30年程度使用可能という示された事例や情報もあります。それらも踏まえて市としては発電が可能な状況であれば、20年を過ぎても、引続き今の状況で行っていききたいと考えております。

【委員】

ありがとうございます。耐用年数が過ぎた時に、作ったけれど、放置されて処理が出来ないというような事も起きているので、そこまで考えて今度許可する時にしないと、後になって困るのではないかと思います。その辺よろしくお願いします。

【会長】

今の点で、設置に関しては、申請して許可の流れですが、適正であれば設置されて、撤去に関しての情報っていうのも含まれているのでしょうか。

【事務局】

先日、政府が太陽光パネルの再利用という事で、義務化を進めていた事は記事で見ました。最近見た所、義務化は難しいという事で、断念したという記事を見ました。ただ現状、各施設の設置を申請される際に、各事業者が廃棄に向けた積立てをするような事例が見受けられますので、20年なりの償却時に、各事業者の判断で、その積立てた解体費で解体されるものかと思っております。

【委員】

やはり厳しくしないとその事業者の判断という事になると、そのまま放置されてしまう可能性もあるので、そこはきちりしておかないといけないだろうという気がします。

【事務局】

政府も義務化はひとまずは断念したようで、今後おそらく2030年代後半に、大量のパネルが処分されるピークが来るだろうという事を踏まえて、パネルの処分に対するリサイクルを進めるような方針でいますので、それに向けて事業者の方の責務を、国も厳しく定めていくのではないかと推測されます。

【委員】

ぜひ淡路市では、良い処置をよろしく願いいたします。

次に施策名：「里山景観の維持」で多面的機能支払交付金というのがあって、58組織に交付しているという事ですけど、これはどんな組織ですか。

【農林水産課】

多面的機能および中山間直接支払交付金につきましては、農会であるとか、昔からの水利の田主といったような団体で構成された組織となっております。

【委員】

その組織は、もう実際に活動しているという事なのでしょうか。

【農林水産課】

実際に活動しております。毎年度当初に計画を出して頂き、年度末に実績を出して頂くといった事で、活動している組織です。

【委員】

私も大阪の方でちょっと関係していて、これはいろんなボランティア団体が里山の整備や竹林の整備している所を補助しているようすけども、兵庫県は違うのですよね。林野庁がお金を出しているものですか。

【事務局】

林野庁とは別のものです。

【委員】

わかりました。それともう1つ、淡路市の人口推移の表で、毎年大体減少ですか。

【事務局】

毎年500人前後の減少です。

【会長】

減少率が減少したという事が言われていたようにも思いましたが、そうでもないって感じですか。

【事務局】

毎年500人前後の減少ですが、令和元年が260人、令和2年度は475人、令和3年度は321人の減少となって、減少率は改善しています。要因ははっきりとわかりませんが、パソナさんの新聞報道にもあります通り、市内に移住して来ている事が関係しているのかなという推測です。

【会長】

いろんな報道では出ていますが、実際具体の所はわかりません。市税に関しては増えている。あと、ふるさと納税100億円達成という横断幕が市役所にありました。財政に関してはプラスという事を、市としては考えているという感じでしょうか。

次に、施策名：「効率的なごみ収集の取組み」で、コンポストという表示があります。実際の所どれくらい普及というか、効果はありそうですか。

【生活環境課】

生ごみ処理機の補助については、かなり以前から実施しています。最近ですが、可燃ごみ処理場を、島内3市で統一して、1つの施設として建設する計画があり、その中で、各市令和元年度比15%のごみを削減しようという目標を掲げています。少しでも淡路市のごみ減量化を図るため、つい最近では生ごみ処理機の補助金のアップ、予算を少し多めに確保して、市民の方々に周知した所、良い反響を頂きました。多数の方に応募頂いて、今年度も先日予算は打切りという形となり、毎年予算は確保しております。確実に生ごみの量が減り、重量にして10分の1から2ぐらいに減り、ごみを捨てる回数も減るという事で、利用されている方が多いかと思えます。

【会長】

はい、ありがとうございました。循環型社会として、さらにそれを利用する事が重要になってきます。推進して頂ければと思います。

【委員】

施策名：「地域の特徴を踏まえた効率的な交通手段の導入」で、あわ神・あわ姫バスの路線数の維持について、路線数は増えて良かったと思いますが、下から4番目の交通空白地の解消に向けた自主運行バスの取組みの検討とありますが、もう少し詳しく教えて下さい。

【都市総務課】

現在、淡路市内ではこのあわ神・あわ姫バスが運行していない地域で、旧一宮町の中に山田地域があります。地域の中で協議会を作って、地元の方がバスを運行する事業に取り組んでいます。この地域に、あわ神・あわ姫バスを全域走らせると、費用面とか運転手不足とか現実問題としては、可能性が低いという中で、中山間部の交通弱者的な所のカバーという点で、課題として挙げております。

【委員】

ありがとうございます。自主運行は確かに大賛成です。保険の問題とか色々あると思いますが、自主運行は進めて頂きたいと思うのと、観光客の方がよく口にされるのが、市内はあわ神・あわ姫バスで行けるのですが、市をまたいだ時に行きにくいという声があるので、一番下の島内の今後の交通公共交通の在り方を、頑張ってやって頂けたらと思います。

【都市総務課】

はい、淡路島内の3市で、淡路地域の公共交通会議で、最新の課題とか、市と市間の交通機関の在り方を協議しております。その協議会には、バス事業者を始め、タクシー業界、そういった事業者も含まれておりますので、今後、淡路島内の公共交通政策については、より良い方法、何か取組める所は、色々調整し、交通の利便性を図っていきたいと思います。

【委員】

ありがとうございます。もう1つだけいいですか。施策名：「ごみ持ち帰り行動の推進」に「以前から香りの公園、浦県民サンビーチ及び岩屋海水浴場でボランティア清掃が実施されている」と書かれていますが、実は北淡震災記念公園を月に1回、朝5時半ぐらいから掃除してくれている団体があるのですが、それは把握できていますか。

【都市総務課】

都市総務課の所管で、ボランティア清掃にあたって、専用の可燃用ごみ袋を支給させて頂いております。そうした事から申請があった団体だけしか正直把握できていませんが、道路の側溝とか、公共施設近辺の清掃も含めて、市内ボランティアの方々のご協力もあり、環境美化を推進できている事につきまして、感謝している所でございます。

【委員】

施策名：「里山景観の維持」で棚田地域振興法を踏まえた取組みを推進するとなっていて、2. 目標指標（実施状況）が令和2年度から令和6年度まで全部0になっていますよね。これだったらやる意味があるのかどうか、ちょっとお聞きしたいです。

【事務局】

棚田の管理について、淡路市は高低差のある中山間地域で、中山間地域等直接支払事業で、農地、農道、ため池等を維持管理しています。淡路市はこの事業を使い、棚田を保全しています。傾斜が厳しい地域の補助金で、兵庫県全体の3割の補助金を淡路市が使っています。現在の淡路市では、中山間事業に取り組んでいない地区で、この兵庫県棚田地域振興計画を周知、啓発していくという形になります。

【委員】

それでしたら、掲載する必要はないのではないのでしょうか。

【事務局】

わかりました。検討します。

【会長】

報告資料2-1、1番下の「環境に関する情報提供」で令和6年度9回と以前より増えてきた。令和7年度に津名図書館で「淡（OUR）フェス」（私たちのフェスティバル）という自然環境団体の展示会が、今年から始まりました。淡路市内で環境保全活動をしている団体が一堂に会した報告会です。また参加したいと言う方々が多くいて、環境に関する活動がさらに活発になって来たと思っています。来年度は「淡フェス」の取組みも、この情報提供の数に入ってくると思います。

【事務局】

7月26日津名図書館の淡フェスに私も行きました。鳥田委員の野鳥のパネルが大きく展示されて、大歳委員の淡路市黒谷の植物調査も報告されていて、すごい人が来ていて、盛況だなと思いました。

【会長】

市民の方々が、仕事ではなく生活の中で、自然環境に触れ、非常に充実して生き生きと生活出来ていると思います。各課で色々政策をやって頂いて、それらは市民の方々、生活に繋がってくると「淡フェス」のような報告会で認識できると思います。ですので、行政のそれぞれの政策を、前へ進めていって頂きたいと思います。

【委員】

施策名：「地産地消の推進」で、水産まつりについて報告させていただきます。令和6年度は、3月にタコステという岩屋で開催し、1,100人の人が集まりました。令和7年度は、3月は魚も少なく、それなら魚の多い秋でという事で、11月22日に開催します。餅まきとかタコのやわらか煮の振る舞いを実施します。場所が良いので、昨年以上の人が集まるのではないかと考えています。昨年、餅の数が少なくて批判がありまして、今年は餅を多めにほって、地産地消の推進に協力していきたいと思っています。よろしくお願いします。

【委員】

施策名：「情報提供による市民参画の推進」の全島一斉清掃について、令和5年度は参加人数が結構多くて、令和6年度は暑さのせいか、段々と参加人数が減っていました。例年7月に実施していましたが、令和7年度は6月に実施しました。令和7年度の参加人数を教えてください。

【事務局】

令和7年度から1ヵ月早めて、6月に実施しました。今年の6月は、かなり涼しい時期

だったので、6月に実施して良かったと感じています。毎年、全島一斉清掃の参加人数は、6,000人前後で推移しています。令和6年度が6,018人、令和7年度は、6,053人でした。

【委員】

施策名：「耕作放棄地対策の推進」の北淡路における事業者等の農業参入事業の推進について、農業参入の公募回数で、令和2年と3年に行われていて、令和4年、5年、6年は公募をしていないという事でしょうか。

【農地整備課】

公募はしていません。今、3期地区まで終わってしまっていて、公募は、3期地区の令和3年度で終わっています。現在、令和7年度に北淡路4期地区の区域確定をしてしまっていて、その公募を、令和7年度か8年度に実施する予定です。

【会長】

水産まつりをご紹介頂きましたけれども、来訪は市民の方が多いのか、島外からの観光客の方が多いのか、どちらに重点というのはありますでしょうか。

【農林水産課】

観光客の方も多く立ち寄って頂く岩屋のタコステという会場で行っていますので、もちろん観光客の方にも参加して頂きたいとは思っております。ただ、広報の仕方ですとポスターを作成し、市内の関連施設や漁業関係施設にポスターを掲示し、また新聞折込みを2週間前に市内で行いますので、どちらかと言えば市民向けと思っております。

【会長】

ありがとうございます。私も市民として楽しみではありますので、市民の方々向けというのはとっても大事かと思えます。もちろん観光客の方々に知って頂く事も大切な事だと思えます。

施策名：「地産地消の推進」学校給食の市産品の使用について、「淡路市100%給食」これが令和7年度実施という事で、これまで課題になっていて、是非にというのが進んで来たのかなと印象を持ったのですが、今年の状態あるいは今後の発展をお尋ねしたいです。

【学校教育課】

淡路市産品100%給食は、令和7年度より実施しております。内容は、地元農家及び加工業者から直接仕入れた食材を使用して、地域の食文化を尊重しつつ、栄養バランスに配慮した美味しい給食を提供するという事で、今年度は1回目を7月16日に行いました。

今後は、学期ごとに1回行い、2学期に1回と3学期に1回行う予定です。

【会長】

ありがとうございました。これは市民の方々或いは観光客の方々にも、とてもプラスの情報ではないかと思えます。こんな事やっているよって言う所で、とっても魅力的な内容ではないかと思えますので、この事業を行うだけではなくて、更に魅力的なものとして、皆さんに広報して頂ければと思えます。

【委員】

施策名：「地産地消の推進」淡路の農水産物・加工品ブランド化の推進について、令和3年度に3件ブランド化されて、その後ゼロが続いていますが、今後新たにブランド化されるようなものが何かありますか。

【農林水産課】

令和3年度の3件につきましては、市が関わった事業で商品化されたという事で表示しております。新たに、ワインぶどうやオリーブオイルとか、同種類でのブランド化が発生する事は予測していますが、現在具体的に計画しているものは待ち合わせておりません。

【委員】

山田委員がブランド化の事をお尋ねされておりました。資料を拝見して一番先に目に付いたのがこの件です。令和4年度以降が0表記になってはいますが、それなりの進捗状況が書かれているので、2. 実施状況の欄は、「新規」のブランド化数にする方が良いのではないかと思いました。商品開発は続いているので、新たな分がないだけで何か0って表示されると、何も進んでないのかなって印象がありますので。

次に施策名：「効率的なごみ収集の取り組み」で家庭系ゴミの実績が書かれていますが、住民の感覚として思うのは、エコプラザの回収日が増えた事が、リサイクル率の向上とか、ゴミの減量化に繋がっていると思えます。一宮エコは以前水日だけだったのが、最近は週4回になっていると思えます。

施策名：「ごみ持ち帰り行動の推進」2. 実施状況で啓発看板の欄があり、私は、チドリの保護の関係で、尾崎と江井の海水浴場によく行くのですが、まず尾崎で、去年ぐらいからバーベキューや花火の禁止看板が新しくなって、ゴールデンウィークや休日に、バーベキューをする人が結構減ったと地元の方から聞きました。江井は、去年と今年にかけて、新しいごみ持ち帰り看板が立てられているのですが、実施状況欄で、海水浴場以外は看板0となっているので、県土木で管轄されているのかなと理解したのですが、やっぱりその看板っていうのが、新しい目を引く形になると、すごい効果があるのかなと思いました。

【農林水産課】

1点目のブランド化の表記の仕方について、活動していないと見えるという事で、報告の仕方が「新規」という事で、このような表記になっていました。表記の仕方については事務局と調整して、また検討させていただきます。

【生活環境課】

2点目のエコプラザに関して、一宮資源回収ステーションは、週4回に変わっています。それは主に津名エコプラザを利用される方がかなり多くて、そこを少しでも減らしたいという意向もあり、また、近年ゴミの分別に色々ご協力頂いて、どのエコプラザも、利用者の方が増えています。そういった事から、一宮エコプラザ以外に、岩屋も曜日を増やして回収に努めています。岩屋は、草木の資源化の受入れを始めたという理由もありますが、資源ゴミが、数多く集まって来ています。

【都市総務課】

3点目の看板の啓発について、尾崎、江井海岸を管理するのが県の洲本土木事務所です。市民や利用者の方々が、ごみ持ち帰り看板の要望等を、県に直接に行く場合もありますが、市に連絡が来る時は、市が現地を確認し、県に情報を提供し、改善されていると思います。

【委員】

学校関係で言いますと、施策名：「地産地消の推進」淡路市100%給食で、浦小学校は学校に畑もあり、田主にも入っています。そういう関係で子供たちは食育にすごく興味を持っていて、100%給食の時も、どこで何が取れているという事で、淡路市の地図を見ながら浦地区だけではなく、市全体の産地の勉強も兼ねて出来ていますので、また2学期3学期とあった時は、この食材はここで取れているという事を教えて頂ければ、大変勉強になるかと思っています。この地産地消の時には、残さず食べようとか、そういう雰囲気もありますので、また続けて頂ければと思います。

それと五斗長に毎年、本校6年生が体験活動をやらせて頂いて、淡路市の中の遺跡に触れるという事で大変勉強になっています。全ての学校が行っているかわからないですが、そういう遺跡があって、小学生がそこへ行って、ふるさと淡路を学べる機会になっているので、本当にありがたいと思っています。

今年は、「かいぼり」ではないですが、ため池教室に4年生がお世話になり、私も参加させて頂いたのですが、カニとかブルーギルとかそれに触れるというだけで子供たちの笑顔といいますか、今は触れる機会がないので、そういう体験や活動をやると、よりこの環境についての勉強が深まっていくのかなと感じています。

【会長】

淡路市100%給食は子供たちだけでなく我々も参加したい。とっても勉強になると思います。地元産給食とかは、淡路市の小学校を卒業した方も多と思いますけども、学校で何かそういった事って、以前ありましたか。

【事務局】

今から30年くらい前は、地元産給食とかはなかった。主食のパンが週2回ごはんに代わった記憶があるくらいで、地元産とかの情報提供は、なかったと思います。

【学校教育課】

学校給食について、淡路市100%給食が話題になっていますが、それ以外でも栄養教諭の方が中心になって、淡路市のここで作られたものが、今日この給食の食材に使われているよというのをアピールして下さっていて、食材を教材として、各学校で使っています。栄養教諭さんにアピールして頂くおかげで余計、学校でも、100%給食に入りやすいという形で食育が進んでいるのかなと思っています。

【会長】

はい、それぞれの施策でやられているから、100%給食だけではなくて、もっと他にアピールできるわけですね。魅力的な事はたくさんありますので、ぜひ繋げて頂ければと思った次第です。

【委員】

今、地産地消の事がいっぱい出ているので、水産まつりは本当にもう大盛況ですごいなと思って感動しましたが、水産まつりはもちろん続けてほしいし、プラス、淡路市って水産物だけでなく農産物もやっぱり良い物がいっぱいあると思うのですよ。それで、実は商工会の観光の方で今計画を立てていて、「私の究極の朝ごはん」というイベントをしようかと思っています。朝早くから魚は業者に頼んで持ってきてもらい、淡路産の米を農家から買って、朝炊いて、プラス淡路の食材を使った加工品、海苔、佃煮、卵とかも当然良いのはあるので、調理は民間の店でも良いし、お母さんたちでも良いし、作ってもらって、そういうイベントをやろうとしています。そうする事により、次のページのブランド化っていうのが関わってくると思うので、水産まつりプラス、水産と農産物で年に2回とか3回やってもらえたらと思っています。淡路市主催でやって頂けたらと思うのですが、その辺りはどうですか。

【農林水産課】

水産と農産物は、淡路島全体で1月15日に伊弉諾神宮で農林水産祭があります。水産まつりは、淡路市漁業振興協議会という協議会の主催で実施しており、市は協賛という形で入っています。もしそういった農産物も含めた農林水産祭を開くとなると、今度は農協さんとかそういった所とも、協議をする必要がありますので、そういったお話があったという事で、また持ち帰らせて頂けたらと思います。

【会長】

施策名：「脱炭素先行地域づくり事業計画の推進」バイオマスボイラーの導入で、いろんな課題があるという事で、今後の協議で何かありましたらお願いします。

【まちづくり政策課】

当初、令和6年度には海外製ボイラーの導入を検討していましたが、円安等の影響で、価格が非常に高いという事もあり、今のところ海外製の導入は断念している所です。ただ、その後いろいろ国内の方も調べましたら、国内でも竹を使ったボイラーが稼働している地域や会社もあり、今は、それらのボイラーを導入する事を調査、検討しています。

【会長】

はい、ありがとうございます。代替計画というのは、そういう所を検討しているという事ですね。質問も出尽くしたみたいですので、これで協議事項（1）の重点プロジェクトを終了したいと思います。

【会長】

次に協議事項（2）その他について、事務局より説明願います。

【事務局】

本日はご審議ありがとうございました。会議録につきましては、整理でき次第、淡路市のホームページで公表します。また、環境基本計画に内包しています、淡路市地球温暖化対策実行計画につきましても、年度末に市広報及びホームページで公表いたします。以上です。

【会長】

事務局より、説明が終わりました。委員のみなさん何か質問等ありますか。

【委員】 なし

【会長】

質問がないようですので、本日の協議事項は全て終了しました。委員の皆様方、貴重なご意見ありがとうございました。

それでは、進行を事務局に戻します。

4. 閉会

【事務局】

会長ありがとうございました。

委員の皆様方におかれましても、長時間にわたりご審議いただき、大変ありがとうございました。

今回、委員の皆様方から頂戴いたしましたご意見・ご提言につきましては、担当部署へ報告し、取組み方法の見直し・改善を図っていきたいと考えておりますので、引き続き、ご協力の程よろしく願いいたします。

では、最後に、武田職務代理より一言よろしく申し上げます。

【職務代理】 あいさつ

委員の皆様、長時間のご審議、お疲れ様でした。

今年度の審議会は、この1回で終了となりますが、この環境基本計画を着実に実行していく事が、重要だと思っておりますので、また、来年度もよろしく願い致します。

本日は ありがとうございました。